

# 新山協ニュース

第 3 号

新潟県山岳協会

発行者 鈴木 敏雄

## 天候の変化しやすい

### 時期の登山の一提案

秀峰山岳会

望月 力

冬や春の天候の激変は、皆さんはよく体験されているはず。予定通りの山行が出来ず、ビバーク等を強いられる場合があります。下山の連絡も取れず、下では救助隊が編成され搜索救助の出勤となるのが常です。

そこで、提案することはトランシーバー一台(片トランシーバー)を山行時には、常に持参することです。最近では、二主寺岳の例があります。当人は天候の急変で頂上の避難小屋で、天候の回復を待って下山するつもりでした。

ところが、下では当人の行動予定がわかるわけもなく、それ、遭難ではないかと大騒ぎとなり、胸までのラッセルを二日ばかりで、頂上に達しようやく無事を確認したわけです。

そこで、片トランシーバーの持参を提案するわけです。

救助隊を編成する前に下からの連絡も取れ、無事の確認も可能であり、適当の指示もあてられるはず。当会では、数年前、春山で予定を過ぎて下山しないので、早速トランシーバーで連絡しました。全員無事の連絡が出来ました。ガスのため下山する尾根がつかめず、ビバークするということでした。翌朝、迎いのサポートを出しました。下山予定ルートを下から登りながら、トランシーバーでは連絡が取れるが、ガスで視界がきかず、現在位置がつかめません。数時間後ガスの切れ間があって、合流することができました。

トランシーバーで連絡が取れても、悪天候の中では位置をつかめないことがあるから、当会では、其の後、救急パックの中に呼子笛を入れることにしました。数十種の笛から音の通るものを選び利用しています。笛はポリス笛(交通警官の使用のもの)です。

エ、皆さんの参考になり

ましたら幸いです。トランシーバーの二段切り替えについては各山岳会で研究して下さい。(協会副会長)

## 中国登山隊の

### エベレスト登山

中蒲原郡村松町に我が国で最初と云われる中国語学校があり、日中国交の大きな掛け橋の役割を果している。そんな縁会で中国大使館からフィルムが借用がまとなり、二月二九日に五泉東映で観賞会が催された。エベレストは中国呼び名はチヨモランマ峰と呼び、このチヨモランマ峰には中国領内の北壁から登頂する道、ネパール領の南壁から登山する道とがあり、北壁から一九六〇年中国隊が初めて登頂に成功して以来、一九七五年五月二七日、今度は女性も含む編成で二度目の登頂に成功し、その際測量、地質、高山生理、大気物理等の科学調査活動に於ても大きな貢献をした。映画はこの登頂の様子

を記録したもので、北側からのチヨモランマ峰と、それにアタックする登山隊を写したもので、中国登山隊の登山に対する基本的考え方、その組織のしかたについても興味深く見ることが出来た。ただフィルムが三五mmのため映画館にしか機械がないこと、字まが中国語のためこの解説に中国語の通訳が要ることが難である。管名山の会で協会加盟団体に連絡、大変感謝されました。



# 越後の旦那様

①

藤島 玄

御西岳から大日岳と天狗ノ庭の三叉路に「親子新道」の標柱が立っていたことは、古い頃の飯豊登山者達はみな知っている。長者原の渡辺善三郎父子に云いつけて、大日岳の頂上まで登山道を伐開させたのが、西蒲原郡赤塚村の豪農中原藤蔵さんである。頂上に祀られた御神鏡と銅鳥居の製作者こそ、峡彩山岳会創立者の一人山岸栄三郎氏であったことを知る人は稀である。

郷里の角田山を愛し、桜樹を植え、観音堂の建立に、横山太平翁の後援したのも中原さんである。

その足跡が全国に及んで中原さん一行が、二度目の福島県南会津郡の御倉入をしたのは昭和十一年である。十月八日より二十一日まで、只見下を遡り、大川を下り一市五郡の山峡を巡った一断面を『会津御倉入』古川愛郷著による

り読んでみたい。

西蒲原郡赤塚村

中原藤蔵(蒼園)

西蒲原郡赤塚村

加藤福蔵(同家番頭)

西蒲原郡巻町

鈴木琢勇(写真家)

西蒲原郡曾根町

渡辺更響(画家)

西蒲原郡角田村

古川金一郎(愛郷)

一行五人に案内人二人を加えた構成は、高頭仁兵衛翁の山旅には必ず番頭をお伴に連れてと同様である。

## 第四日

大塩温泉(十月十一日)

中川村の萩の禅宗中丸山滝谷寺に一行は再訪して一泊した。中川郵便取扱所長長谷川源清氏は語る。

御神楽岳は、本名村湯倉温泉から北へ霧来沢を遡ること一里にある三条村から登る。ここに伊佐須美神社の奥ノ院があり、戸数十二軒。越後の三条からと京都の三条から来たと両説があり、祖先は隠れ人、曲者だと云い、風俗人情

など変っていて、外来人を極度に嫌う原始郷だから神宮か教員の案内でないとい、登ることも泊ることもできない。神様のお山だ、と毎朝御神楽岳を拝む風習がある。三条を早朝四時半に出発して十一時半に頂上に着いたから約七時間かかる。約一里登ると沢が分れ、右へ半里遡ると八乙女滝、さらに半里遡って、尾根を登って行くと、が生えて枝にサルオガセが垂れ、若葉が雪の中にほほけて美しい。雪の上

# なかまの顔

亀田山岳会

構成と組織

創立 昭和22年 会員35名

名誉会長 小泉 喜重

会長 立川 重衛

副会長 田村 祥司

会計企画 酒井 定勝

特徴と方針

会員の中心世代交替により、山を趣味とする集りの相互扶助、親睦睦的性格が強い、地域研究の復習をしながら、ベルの向上を図って行く。

会報とバッヂ

部から三十分ばかり圏境を越えて北へ辿ると、越後峰の三角点に出た。ここにも石祠があった。頂上は約四畳敷くらいで雪は風に飛んで無いが、周辺の斜面には二丈くらい固い雪がある。石祠の前の大根のような物に触ってみると、献灯のであった。七時頃漸く三条に戻り、分教場に泊ったが、純朴で気持よい青年団が世話してくれた。

会員募集

町民登山大会で町公報、各職場にPRして同好者を集める。月例山行に参加しながら選択して行く。年会費二〇〇〇円で入会金ただ、バッヂと会標

識を支給する。

地域研究

川内山塊と飯豊連峰をホームグラウンドとして来た。今後はその復習と、やり残しについて記録写真を主とした山行を計画している。そのために会員グループによる月例山行を重視し、若い会員の底辺を広げるべ 努力している。

# 報 告

県山協新年会のこと

鈴木 敏雄

上越線信越線ともに全面ストップに近い異常豪雪で出足を危ぶまれた県山協新年会を昨年来からの予約申込みで新潟万代シルバーホテル、東天紅を貸切りで一月二十四日(土)に開催する。

新潟の空は時折り青空も望まれるが、一月下旬の寒風は肌を刺す程に痛い。

上越線特急を始め、信越線の日本海縦貫急行特急とも全面運休の状態で、長岡以遠の会員から申込みはあったが一人として足を奪われ、参加申込み取消しの電話も止むを得ない。にもかかわらず県下加

盟団体の会員が定刻近く続々と詰めかけて受付も嬉しい悲鳴。

定刻二時を期して、室賀会長の異常豪雪にもかかわらずよく参集したこと、今年度事業の推進協力の御礼を兼ね、

漸新的な会員相互の和と教調を基にこの新年会を開催したこと、の挨拶に続き、新潟県山岳会斉藤平七代の音頭で乾杯、小林副会長の司会で中華料理の円卓を囲み、ビール良し、酒良しの飲み放題、食い放題の宴席が始まる。

次々と会場に集まる会員で席も満杯、各地区、各山岳会の近況もやま話に花が咲き酒宴も最高潮。

泉山岳界の長老、藤島玄氏佐久間惇一氏の回想談に耳を傾め、座も一段と盛り上がり、名調子の小林副会長の司会と相まって話が出るやら歌が出るやら、各会の正月冬山合宿のことども、山スキーの醍醐味、心は早や春山から夏山への夢を描きながら話の環が広がり益が重なる程に話もはずむ。折も折、会津山岳協会の矢田目昇氏を代表に四名

今や遅しと駆けつける。

はるばる会津から我々の行事に友情参加の諸兄を改めて紹介し、会津と越後との因縁

浅さからぬ由来を述べ、宴もそけなわ。

参加団体三十一団体、新潟下越、中越地区の一部で、上越地区会員の異常豪雪による不参加は心ばかり淋しくは感じたが、参加者八十七名の多数にのぼり、時の経つのも忘れて円卓を囲む県下岳人の集いは、初のこころみで、異常豪雪にもかかわらず、これだけ多数の会員諸兄を一堂に会し、正月気分も醒めぬ土曜午後の楽しい一時で、各地区、各会岳人と相和して語り合っただ有意義な一日であった。

## 親睦登山

高田ハイキングクラブ

恒例の親睦登山が十月十一日十二日の二日間、上越の青田南葉山で催された。当初予定の日時は稲刈りの季節に合致、地元クラブ員の参加協力

が思うにまかせず、日程変更をしたことをお詫び致します。十月十一日の午後六時三十分には殆どの申込者が顔を揃え、

予定の午後七時に開会式が出来ました。接待係が旅館の上

品な賄いを下見に及び、山男の胃袋に合せるために急拠、

会員が町まで「つまみ」を買出しに出掛けその場をつくる

一幕もあり、どうやら形だけの設営が整い、室賀会長の挨拶で懇親会が始まりました。

各山岳会の交流もさることながら、大変な眠いで、唄にスピーチに十一時過ぎまで時の

至つのも忘れて愉快地親睦を深めて戴きました。全員が就寝したのは十二時を廻り、山

男の酒の強さに宿の人は半ばあきれた様子でした。

十月十二日、夜半より降り

出した雨は夜明けと共に本降りとなり、山行を中止して又飲み直しかと嬉しい心配をした

が、朝食も宿の予算がくるう程、おはちのもり替えをや

り、山男の胃袋に従業員も目をパチクリしている中に、雨

も小降りとなり出発と決まる。身仕度を整えた岳友が駐車場へ集る。南葉山は地元の学校

で校内登山としてなじみの深い山であるが、一般の登山者

がこのように大勢で登山するのは、有史以来のことである

うとのこと。マイカーに分乗して三合目の登山口に到着し

た頃は雨も上った。車道終点の三合目から頂上までの山道

につけられた道標は、上越市の協力で親睦登山の二週間ほど前に、私共が取りつけたも

のです。今回の親睦登山は指導員検定も併せて行われ、二

班に分けて夫々の行動となりました。よく踏れた山道は頂上へ一本登りで、四合目は国

見平、五合目の木落坂、六合目は素晴らしい水質の清水がこ

んこんと湧く水場がある。七合目の標柱に出ると上越を一

望に出来る見晴台となってい

る。雑木林をぬけ、杉の植林をぬけて六合目の水場に着く

頃に漸くガスも晴れ、足下に高田の市街が見え始めた。水

場が酔ざめの水がことの外うまかった。八合目から上は

の疎林となり、急坂も漸く平担の登りとなる。途中で秋の味覚「茸」を一かかいても取った仲間も居る。半ば紅葉も過ぎた林間に岩鏡や、雪椿も見られる。山頂は周囲を灌木で囲まれた平地で、中央に石の祠があり、高さの割りに展望はさかない。思い思いの昼食風景はまことになごやかだ。下山は往路を泥んこになり引き返す。三合目で閉会式をや

(文責 橋本 正己)



# 動き

## 直江津山岳会

### アラス力遠征

昭和三十一年に発足した同会は内藤会長の良き指導のもとで順調に発展を遂げ、今年は二十周年の記念事業として、北米大陸最高峰のマッキンレー峰(6198m)の登頂を計画、内藤修氏を隊長に十二名の隊員で六月十八日から七月十五日までに登山行動を行なう。目下精力的な準備が行われて居り、ご成功を心から祈るものである。

### アフリカ便り

#### 伊藤周左衛門

湯沢町山岳会の伊藤周左衛門さん(上樽山の家)が昨年の十月にアフリカ大陸を縦断し、三月に完走帰国の途についている。以下伊藤さんの元気な便りを紹介する。

謹賀新年、皆様、お元気で良い正月をお迎えのことかと思いません。今年も昨年同様、御指導を賜りますようお願い

申し上げます。扱て、昨年はアフリカの旅に出かける前に一度長岡の方に出かけたかったのですが、何かと忙しい毎日で、御挨拶なしで出発したことをお詫び申し上げます。SAFARIの哲学DO IT YOURSELFを原則に自然は厳しく偉大です。アフリカは今まで経験した全てのそれ以上に厳しく偉大さをもつて、困難な旅、不快な旅を強いられるかも知れませんが。アフリカの人々はきっとそこを旅する人に素晴らしいものを、サハラ砂漠は幻想をもつて、かけがえのない魂の遺産を約束してくれると云う趣旨で始めたアフリカの旅も、マドリッド出発したのが昨年の10<sup>23</sup>、オンボロの中古車のラウンド、ローバー三台、そして男八女五の全くの目的も職業も異った「自戒のない集団」が分乗してモロッコへ、モロッコではラバト、マラケシ、カサブランカへそしてアトラス山脈を横切るように地中海沿いに東をめざして車を進

めてアルジェアの首都、アルジェ郊外の松林のキャンプ場で「クズレ」「松茸」等の茸を焼いたりしてよく食べました。そしてヨーロッパ風文明と別れ、東アトラス山脈を越え、南へ夢にまで見た地球上で最大の砂漠サハラ、このコースの最も難しいとされている、ガルダイヤ、ジャネント、タマンラセントを予定コースにないコースを本隊と一時別れてサハラに入ったのが1<sup>18</sup>アルジェから640軒、突然眼下にザルダイヤの町が現れ、オアシスが大きく発展したバザールの楽しい町です。此処で舗装道路も終り、どこからどこまでが砂漠か道路かわからない道路を、時折ある2米余りもあるケルンを頼りに、道なき道を行くこと200軒で岩壁

のコースを忠実にアサカオ峠まで、ロバとラクダで進み、ジャバレンまで15日間、クシを食べながらの野宿、日中は気の遠くなるような暑熱、それが夜になると針のさすような寒気、痛めた膝の関節が痛くて眠れない日もいく夜もありました。800年の風化した岩壁画は牛が多く、そして問題の「白い巨人」6米余もあります。サハラは昔800年の昔、河が流れ、緑があり、狩と農耕の台地だそうです。そして風格のあるトウアレグ旅「青い種旅」苦しかったサハラ砂漠の縦走行、砂、嵐、深い破

状砂での脱出を全て懐しく、<sup>12</sup>/<sub>16</sub>回教徒の一番大切な行事の断食の最後の日のマトン、羊を生にえの行事。砂の上にはさちんと正座し、何度も砂に額をこすりつけ、それは気の減るような、何時終るともない単調なメロディのコーランの詠唱を満月の大きな月の中で、天と砂、それグリーンランドの天と水、そしてその空間の人間、両極限は異似しているように思います。水のグリーンランドには文明のかけらもないが、「砂漠」とユダヤ、キリスト、イスラム教も、自らの論理の始源をこの砂漠に持っているのだから、「褐色の無」そのままです。ジャネント、タマンラセントまでの750軒のヒッチハイク、最も苦しい10日間でした。トラックの屋根の日中の暑熱、今思ってもぞっとします。そしてタマンラセントでもう出発してはいないと思っていた本隊と偶然にも合流出来、サハラの孤児にならずにすみました。そして国境越えの難所を越え、ニジエールのアガデス、此処で<sup>10</sup>/<sub>10</sub>にカナダケンブリッジから出した。植村直己君からのハガキを受取りました。ニジエール領内奥深く入るにつれて死の世界から僅かながら生物の世界がよみ返って来ます。土で造られたモスクの町まで、アラブ国の国ですが、スキンは黒、もう黒人の国です。そしてサハラは年々南へ広がっています。ア

ガデスよりズイングーまで500  
料、砂漠の本当の恐しさを知  
る深い砂の海でした。砂嵐と  
砂の美しさを同時に充分知ら  
されました。これは冬山での  
吹雪と深雪によく似ています。  
ズインダーからは久々の補装  
路でナイジュリのカノへ入っ  
たのが12/27 黒人、アラブそし  
て西欧文化が入り混じり、混  
とんとしてサハラからの強風  
に埃りばい大都市、カノでマ  
ラリヤの研究のため在住の松  
島立男先生と、12/30上温湯隆（  
ラクダで旧隊商のルートを踏  
確しようとし、コースから大  
きく外れ、150杆行ったところ  
で死亡）について明け方まで  
語りました。先生は上温湯君  
を見た最後の日本人と思いま  
す。彼の行為は無謀だとか、  
自殺行為だとか、云々は別に  
して、何かが追つめていたよ  
うです。カノを13/1大晦日に出  
発、ナイジェリアとカメル  
ンの国境の小さな小学校の庭  
で正月を迎えました。そして  
チャドを南下、1/12ザイル

閉鎖、コースをスーダン、ウ  
ガンダ、タンザニア（キリマ  
ンジャロの麓を通過して）ケニ  
ヤに入ります。予定より少し  
遅れています。土樽の一番  
忙しい折、勝手なことをやり  
申訳ありませんが、これは  
必ずや土樽の大きな十になる  
ものと信じています。今コン  
ゴ河で泳いでいます。1/15出発  
出来そうです。協会の皆様に  
よろしくお伝え下さい。  
1/18、1/22、セント、アフリカ、  
バンギーにて、伊藤、  
室賀様  
第二信  
冠者「巨大な高い陽光を浴び  
て信じられないくらいに純白  
に輝くキリマンジャロの四角  
い頂があった。……」とヘミ  
ミグウェイは「キリマンジャ  
ロの雪」の最後の方に書いて  
居るが、飛行機から見たら四  
角い頂に見えたのでしょうか。  
マサイ語で「ヌガイエ、ヌガ  
イ」「神の家」と呼ばれるに  
ふさわしい、原住民から崇め  
尊ばれているし、男は死ぬと  
き最高峯・キボに面して埋葬

されるしきたりは今も昔も変  
らず厳しく守られているそう  
で、即ち、原始信仰の山でも  
あります。登山は比較的容易  
で、富士山をあと200米高くし  
て居ります。早く帰り野沢菜  
を食べるのが楽しみです。永  
く苦しかったAFRICA、  
S A F A R I も 杆にも及び、  
4ヶ月もかかりました。  
暑熱のサハラ砂漠、車の通  
れる限界と思われる岩山ばか  
りの処、住民の襲撃からの不  
安、風土病、しかし、百姓と  
谷川岳で鍛えた私と、空手3  
必要と思います。クレタのギ  
ルマンズ、ポイントから日ノ  
出は素晴らしく、お花畑が広く、  
コースはモス市で登山届をし  
てバスで、コートのキボホテ  
ル、フィットのマンバラヒュッ  
テには4時間、1200フィートのホ  
ロンボヒュッテまで3時間、  
キボヒュッテ（1500フィート）ま  
で4時間、1930フィートの頂上ま  
で5時間で下りはマンバラま  
で7時間と云った所要時間で  
す。キリマンジャロの西側の  
米のメルー山及び、ケニヤ

マンジャロ登ったし、ナシヨ  
ナルパークを見て廻ったので  
もう思い残すこともありません。  
今ビールの味をかみしめ  
て居ります。早く帰り野沢菜  
を食べるのが楽しみです。永  
く苦しかったAFRICA、  
S A F A R I も 杆にも及び、  
4ヶ月もかかりました。  
暑熱のサハラ砂漠、車の通  
れる限界と思われる岩山ばか  
りの処、住民の襲撃からの不  
安、風土病、しかし、百姓と  
谷川岳で鍛えた私と、空手3  
必要と思います。クレタのギ  
ルマンズ、ポイントから日ノ  
出は素晴らしく、お花畑が広く、  
コースはモス市で登山届をし  
てバスで、コートのキボホテ  
ル、フィットのマンバラヒュッ  
テには4時間、1200フィートのホ  
ロンボヒュッテまで3時間、  
キボヒュッテ（1500フィート）ま  
で4時間、1930フィートの頂上ま  
で5時間で下りはマンバラま  
で7時間と云った所要時間で  
す。キリマンジャロの西側の  
米のメルー山及び、ケニヤ

# 行事予告

## 日本 嶽山岳会越後支部創立三〇周年記念

昭和21年12月5日に当嶽の  
生める斯界の大先達、高頭仁  
兵衛翁邸に発起人10名が参集  
し、越後支部の結成式を挙げ、  
創立総会を翌年5月28日、本  
部の冠松次郎先生、高頭仁兵  
衛先生を迎え、多数の会員出  
席の上残雪の苗場山で行って  
以来藤島支部長の蓋力で順調  
な発展をとげ、会員230余名の  
大世帯となり、嶽山協の中核  
として活躍して居る。今年の  
創立30年に当るので左記によ  
り記念行事を行うので、岳友  
多数の参加をお待ちします。  
日時 6月19日、20日  
場所 苗場山  
来賓 全国の岳人元老多数  
日程 6/19 夜湯沢町富士屋ホ  
6/20 苗場山登山

伊藤 室賀様

# 報 告

## 関東地区山岳

### 連盟理事会

日時 51.2.5 18時より  
場所 日本山岳協会、事務局  
議題 ①関東地区ブロック運営  
について

②国体少年の部予選につ  
いて

③その他

室賀協会長が出席、関東地区  
岳連の規約、名称等の確認を  
行い、関東地区の行事として

④国体少年の部の予選の実施  
⑤関東地区登山大会について  
は毎年の開催を義務づけない

⑥連絡協議会は（OBを含む  
懇談会）年一回開催を原則と  
する。⑦関東地区選出の日山

協理事8名については、東京、  
神奈川、埼玉、千葉は各1名  
を毎期選出する。群馬、栃木、

茨城、新潟、長野、山梨、静  
岡は交互に4名の理事を選出  
する件を確認。⑧関東地区岳

道の運営は委員会とし、委員  
の構成は日山協へ選出の8名

の理事と残る3県の代表者を  
もって構成する。委員会は毎  
年3月、11月の2回開催する。

⑨昭和51年度の当番県は東京  
都で酒井聖至氏が委員長に就  
任。⑩国体少年の部のプロッ

ク予選会は7月頃に東京都が  
当番で実施する。会場は追っ  
て通知するから、5、6月に

各県の予選を終了するよう要  
望。予選会の審判員（各県1  
名）は4月に講習会を実施す

る事を申合せ、散会する。  
昭和50年度新潟県山岳遭難防  
止対策協議会

日時 昭和51年2月2日  
会場 新潟市白山会館  
①報告事項

②県内山岳遭難事故発生状  
況について（警備二課）  
③全国山岳遭難対策協議会

について（保健体育課）  
④冬山登山技術向上研修会  
について（県山岳協会）

⑤協議事項  
⑥山岳遭難防止対策につい  
て

⑦遭難救助対策について  
⑧提出議題について

以上の案件について熱心に協  
議、研究が行われた。貴重な  
資料が事務局にあるので入用  
の方は事務局まで申込むこと

## 事務局より

### 日山協山岳遭難共済の件

この保険の創設以来積極的  
なご加入を載けていますが、  
今年度の手続き上の留意点を  
略記します。

①加入資格は県協会加盟団体  
の会員に限る

②期間は51年4月1日から一  
ケ年で、中途加入の場合でも  
終期を52年4月1日に統一す  
る。従って5月15日加入の場  
合は、6月1日から4月1日

までが共済期間となり、保険  
料は2280× $\frac{1}{2}$ ＝1900円  
③保険料は2280円に変更  
④支払う共済金の限度額は、  
捜索救助費用100万亦、死亡50  
万亦、後遺疾は15万～50万亦  
まで、~~海外~~海外登山の事故は適  
用されない。

⑤申込方法は  
四連式の加入申込を作成、 $\%1$   
1は山岳会で保管、 $\%2$ を県  
山協へ送付、 $\%3$   $\%4$ は日山  
協へ直接送付する。

掛金は郵便振込用紙を使い、

日山協宛に振込む。

## 一般山岳団体指導者

### 春山研修会

文部省主催の表記の研修会  
が行われます。希望者は至急  
協会事務局まで申込み下さい

①期間 昭和51年5月27日(休)  
から6月2日(水)の7日間  
②会場 立山の文部省登山研  
修所

③参加資格 各山岳会の指導  
的立場にある男子、女子。  
④申込 県山協事務局に4月  
30日まで申込む、協会で審査  
の上、県教育委員会に協議決  
定後正式参加者に通知する。

## 山岳遭難救助

### 指導者研修会

山岳遭難救助活動の指動的  
立場にある者に対し、遭難救  
助に関する知識と実技並びに  
その指導法について研修を行  
う催で、左記により協会事務  
局へ申込み下さい。

①期間 昭和51年5月8日(土)  
から5月12日(水)までの5日間  
②会場 文部省登山研修所及  
び、弥陀ヶ原周辺

③参加資格 各山岳会の救助  
活動の指導的立場にある者  
④申込 昭和51年4月13日ま  
で協会事務局に申込む、県教  
育委員会、県警察本部と協議

の上参加者を決定通知する。

## 第31回国体予選会

### について

昭和51年10月24日～29日に  
行われる第31回佐賀国体の新  
潟県予選会が、5月3日～5  
日の2泊3日で飯豊連峰石転  
沢大雪（北股岳往復）で実施  
されます。近く実施要項が配  
布されるので多数の参加をお  
待ちします。

## 山届けを

### 必ず出すそう

登山届けは新届団体として、  
当該登山に関し全面的に掌握  
し、且つ、緊急時に於いて即  
刻その連絡処理に当るために  
必要欠くことの出来ないもの  
です。

討議し、県警等の関係機関の  
要望を集約して、日山協で全  
国統一の登山届を作成しまし  
た。1冊 枚組 300円です。  
申込みは協会事務局へ

## 編集後記

### 投稿のお願い

協会会員のコミュニケーション  
の場として、投稿、要望  
をドンドンお送り下さい。尚  
各山岳会の会報、月報も併せ  
事務局までお送り下さい。

藤井 信